

## 観点別学習状況の評価と評定への総括について

観点別学習状況の評価のための総括及び評定を導き出すために、次のような手順が必要です。

- 1 観点別学習状況の評価の観点ごとの総括
  - (1) 題材における観点ごとの評価の総括
  - (2) 学期末における観点ごとの評価の総括
- 2 観点別学習状況の評価から評定への総括
  - (1) 学年末における観点ごとの評価の総括と評定への総括

### 1 観点別学習状況の評価の観点ごとの総括

#### (1) 題材における観点ごとの評価の総括

題材の単位時間における評価規準に基づいた評価の結果を次の表のように整理し、この表をもとにして、観点別評価を総括します。

「b 発想や構想の能力」「c 創造的な技能」のように、単位時間の評価規準からみた、完成作品による評価を加えることも考えられます。

A男さんの「発想や構想の能力」ではC B Bで「B」、「創造的な技能」ではC C Bで「C」と判断します。

< 評価記録表 >

題材名		「未来に生きるわたし」A表現(2)・B鑑賞									
観 点		a 造形への関心 ・意欲・態度			b 発想や構想の能力			c 創造的な技能			d 鑑賞 の能力
題材の評価規準											
単位時間における 評価規準		a	a	a	b	b	作品	c	c	作品	d
氏名	日付										
A 男	評 価	B	B	B	C	B	B	C	C	B	C
	判 定	B			B			C			C
B 女	評 価	B	C	B	B	C	B	C	B	B	C
	判 定	B			B			B			C
C 女	評 価	A	A	A	B	B	B	C	B	B	B
	判 定	A			B			B			B
D 男	評 価	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A
	判 定	B			A			A			A

#### (2) 学期末における観点ごとの評価の総括

評価記録表をもとに、観点別学習状況の評価を総括します。

観点別学習状況の評価表

	a 造形への関心・意欲・態度			b 発想や構想の能力			c 創造的な技能			d 鑑賞の能力		
	題材	題材	題材	題材	題材	題材	題材	題材	題材	題材	題材	題材
A 男	B	B	B	B	C	B	C	C	B	C	C	B
	B			B			C			C		
B 女	B	B	B	B	C	B	B	B	B	C	B	C
	B			B			B			C		
C 女	A	B	A	B	B	A	B	B	B	B	B	A
	A			B			B			B		
D 男	B	B	A	A	A	A	A	B	A	A	B	A
	B			A			A			A		

2 観点別学習状況の評価から評定への総括

(1) 学年末における観点ごとの評価の総括と評定への総括

各学期の観点別学習状況の評価を総括します。

A 男さんの「造形への関心・意欲・態度」では、各学期の評価が B、C、C であることから、学年末の評価を「C」と判定します。

	a 造形への関心・意欲・態度			b 発想や構想の能力			c 創造的な技能			d 鑑賞の能力			評定
	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期	
A 男	B	C	C	B	C	C	C	C	B	C	C	B	1
	C			C			C			C			
B 女	B	B	B	B	C	B	B	B	B	C	C	B	2
	B			B			B			C			
C 女	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	A	B	2
	B			B			B			B			
D 男	A	B	A	A	B	A	A	B	A	A	B	A	3
	A			A			A			A			

各観点別学習状況の評価の総括から、下記の表のように、評定をします。

C 女さんは、各観点の判定が A、B、B、B であることから評定を「2」とします。

関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	評定
A	A	A	A	3
B	B	B	B	2
C	C	C	C	1



